



社会福祉法人小山町社会福祉協議会

つながり

地域福祉活動情報誌



へんぞうだったんだ



A4用紙幅
=約30cm

30cmで知る福祉をはじめよう。



「障がい」もっと身近に考える

12月3日～9日は障がい者週間です。

- ・おいでよサロン「南藤曲・菜の花サロン」
- ・赤い羽根共同募金ご協力をお願い
- ・リレーエッセイ 手をつなぐ育成会 会長・臼井美喜子さん



この情報誌「つながり」は赤い羽根共同募金の一部を活用し発行しています。また、各区役員の皆様のご理解とご協力により、小山町内の全戸に配布させていただいています。

防災

小山町 危機管理局
防災専門監
永井 利弘 さん



災害対策基本法の改正で、災害時の要支援者に対する個別避難計画（以下、個別計画）を策定する事となり、これを受け、小山町では定期的に関係部署、関係者を集め検討会を行っています。

私がこの個別計画に力を入れる理由は、平成30年に発生した西日本豪雨での岡山県真備町で起きた悲しい出来事を知ったからです。軽度の知的障がいを持つ母親・三宅遥さんと、自宅の押し入れで亡くなっていたという事、そしてその原因は「地域とのつながりの薄さ」と「福祉と防災の断絶」だったのではないかと知ったからです。

自ら判断をして避難する事はハードルが高く、周りが手を差し伸べる事がいかに大事であるかという事を知り、計画の作成よりも、障がい者が「普段から地域とのつながりを持つこと」「抵抗感なく防災訓練に参加できる環境づくり」が重要であると考えるようになりました。

先日、町では車いすでの生活をしている方のご協力を得て、要支援者の防災訓練を行いました。新たな問題が浮き彫りになりました。今後はその問題を踏まえた「障がい者に寄り添った避難の具「体化」に努めていきたいと思っています。

これからも、福祉と防災の垣根を取り払い、三宅さんのような悲しい出来事が起こらないよう、皆さまのご協力を得ながら努力していきたいと思っています。



12月3日～9日は

障がい者週間

「障がい」をもっと身近に考えてみませんか

身体障がい、精神障がい、知的障がい...と「障がい」には様々な特徴があります。正しく理解して、差別や偏見をなくし、みんなが住みよい環境づくりを目指し、様々な取り組みが行われています。



「障害者自立支援協議会」って
どんなことをしてるの?

困りごとを「我がごと」に

御殿場・小山障害者自立支援協議会（以下、協議会）は、障がい者の生活を支援する仕組みづくりの中核となる組織として設置されているもので、障害のある人も普通に暮らして、地域の一員として共に生きる社会作りを目指し、福祉事業所や団体、行政、学校など多くの関係者が集まって協議する場です。事例から見えた課題を個人の困りごとだけに終わらせずに地域の困りごと」としてとらえ取り組んでいます。

ここ数年、感染症の影響もあり特に福祉施設においては対面の機会が減り、感染対策との葛藤の中、どのようにしたらこれまでと同様の支援を行えるのかという悩みが挙がるなど、障がい者に関わる課題は、時代と共に変化し、また地域によっても変化しています。

近年は自然災害も多くなり、障がい者が犠牲になることも少なくありません。そんな時こそ、障がいがあるなしに関わらずお住いの地域で声掛けできる環境を作り「他人事」ではなく「我が事」としてとらえ「地域福祉の底上げ」につながる大切だと感じています。

就労

就労支援継続B型事業所
ワークホーム・アップル



※写真撮影の為マスクを外して撮影しています

個々の能力に合わせ やりがいや、よろこびを

就労支援事業所とは、障害者総合支援法に基づき、障がい者の働く場を確保して、知識や能力を向上させるための施設のことです。その就労支援事業所の内、ワークホーム・アップル（以下、アップル）は「就労支援継続B型」に該当し、一般企業への就職が困難な障がい者の方に、就労の場を提供するサービスのひとつになります。就労支援継続B型の利用者は、事業所との雇用契約を結ばず、作業は短時間で負担も少なくなっています。また利用者にはその作業の対価として工賃が支払われます。

アップルでは、施設内の作業だけでなく、小山町役場の「カフェ・ポム」や「町民食堂「ごちそうさん」」の運営を行っています。個々の能力に合わせた作業を行い、お客様とのコミュニケーションを通じて、知識や能力の向上を図っています。

視覚障がい者を安全に誘導する点字ブロックの1辺は30cmって知ってましたか



こんなこと、していませんか?

目の不自由な人の命綱となる点字ブロックの上に物をおかない。上に立ち止まらない。
ちょっとした気づきで事故を防ぎ、安全につながります。



ほんの少しの段差でも助けが必要なんだね

5cmの段差を介助者が押して昇れるスロープの距離は30cm必要です。

30cm

5cm

まずは知ることからはじめる

動画で知る 「令和4年度 障がい者週間 基調講演会」
You Tube テーマ「地域と障害者の防災について」
配信期間 12月3日～9日

なお、インターネット環境がない方への動画視聴も予定しています。詳しくは、11月に配布されるチラシをご覧ください（小山町社会福祉協議会、小山町福祉長寿課にて配布予定です）。

冊子



「地域での支えあい」
（発行）全国社会福祉協議会
障害関係団体連絡協議会
地域での支え合いに関する研究委員会



「知的障害児の子育てハンドブック」
（発行）静岡県手をつなぐ育成会
※小山町社協でも配布しています。

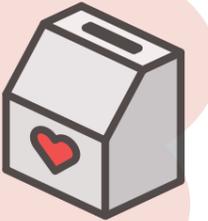
赤い羽根共同募金

ご協力のおねがい

小山町社会福祉協議会では社会福祉を目的とする事業活動を図るために、毎年10月1日から12月31日にかけて募金活動を行っています。

募金活動は、企業や学校関係、自治会、民生委員など多くの団体の協力によって寄付の呼びかけが行われます。寄せられた募金は、計画的に静岡県内の社会福祉施設やボランティア団体、福祉活動への助成や、相談支援などに充てられ、身近な地域福祉のために役立てていきます。ご協力をお願いいたします。

募金活動期間は
10月1日～12月31日
です



小山町ではみなさんの募金が
このような支援につながっています

「赤い羽根共同募金」は社会福祉施設やボランティア団体、福祉活動への助成として役立てられます



移動販売による買い物支援



法律、介護、心配事などの福祉総合相談支援

12月1日～31日は「歳末たすけあい募金」にもご協力おねがいます

「歳末たすけあい募金」は生活困窮世帯に対する支援のために使われます。

その一言でお互い笑顔

みいでよ
サロン Vol.1

南藤曲・菜の花サロン



明倫地区・南藤曲
菜の花サロン
運営協力委員・リーダー
青木 かつ江 さん



わなげの達人も勢ぞろい?とにかく楽しむ事が一番

菜の花サロンの参加者は、体を使うプログラムが好きで、その中でも特に太極拳が人気で、足腰が悪い方でも椅子に座りながら参加してくれれます。ここ数年は、近所付き合いが希薄になっているので、サロンに来ると楽しそうにおしゃべりをしてる姿を見るととても嬉しくなります。

運営スタッフになって5年目になりますが、普段から「お声がけ」を大切にしてます。「お元気ですか?寝れましたか?」その一言で自然と参加者さんも笑顔になりますし、別の日には「先日はサロンお疲れ様でした」と、お声を掛けていただいたり、時々お野菜を譲ってもらったりと、付き合いがより深くなっています。ただ、お一人暮らしのお年寄りもいますので、イベント以外でも何か支えになることがないかな、と頃から考えています。

プログラムを考える時には、スタッフも積極的に意見を言ってくれるのでとても助かっています。しかし、年々スタッフの高齢化も進んでいるので、明るく、お年寄りに優しい新たなスタッフも現在募集しています。



小山町手をつなぐ育成会
白井 美喜子 さん

リレーエッセイ
その10

住みよい町へつながる「見守りの目」

「手をつなぐ育成会」は、知的障がいのある人たちを支えている親や家族、支援者で組織され、私たちは小山町、清水町、長泉町の3町で「駿東郡手をつなぐ育成会」として活動し、地域交流会などを通じて交流を図っています。私は障がいに限らず、楽しく住める町、そして、その人らしい活躍の場が生まれるといいなと常に思っています。また、「障がい」は特別な事ではなく誰だってなりうるという事をみなさんに知って欲しい。高齢化が進む現代では障がいに関係なく「住みよい町」を望むのはどんな方でも一緒だと思います。

現在、会員数も減りつつあり、併せて会員の高齢化も進んでいます。私は「障がい者が元気でいるためには、親も元気でいなければならぬ」と思っています。それにも限界があります。これから、会がより活性化するためにも、自発的に取組む若い方々のチカラが必要になってきます。

また、周囲の方の「見守りの目」をもっと増やしていけたらいいなと感じています。障がいを抱えた子どもを持つ親御さんはどうしても人の目を気にして外に出さない傾向がありますが、そうなるとうまく行かなくなりますが、やがて親子の孤立を生むことにつながります。その為にも、ワークホーム・アップルのような通所施設を小山町に増やして、障がい者が活躍できる場の創出がとても大切だと感じます。障がい者と共に住みよい町にする為にも、「周りの目・見守りの目」が増えていくことを心から願っています。

福祉総合相談

心配ごと 毎週木曜日

10月 6日、13日、20日、27日

11月 10日、17日

12月 1日、8日、15日、22日

介護相談 毎週火曜日

10月 4日、11日、18日、25日

11月 1日、8日、15日、22日、29日

12月 6日、13日、20日

法律相談 毎月1回 受付枠3組(要予約)

11月 9日(受付開始日10月11日)

12月 14日(受付開始日11月10日)

1月 18日(受付開始日12月12日)

出張心配ごと相談 受付枠2組(要予約)

11月24日 須走地区コミュニティセンター

・13:00~13:45

・14:00~14:45



ご寄付紹介

令和4年4月~8月分(敬称略)

プルタブ

TOMORROW、込山兼幸、天野松江、山田節子、明倫小学校放課後児童クラブボランティアすみれ会、小山町民踊愛好会、芹澤儀一、小山婦人会、鳥飼昇東富士グリーン(株)、寺尾糧食の仲間、羽佐田マサ江、岩田佳代子、楠田真由美(株)タイショーテクノス、佐藤明、吉田製作所、鹿沼朋美、大久保利男、須走地区赤十字奉仕団、岩田トキ子、伊倉道子、小山町身体障害者福祉会、まんぶくカフェ湯山直美、後藤一生、勝又梨恵、国際ソロプチミスト、須走婦人会、家庭倫理の会御殿場市、四国化工機(株)富士食品工場、井田松江、天野政雄、上原紀子、井上京子

使用済切手

北郷婦人会、ボランティアすみれ会、小山婦人会、小山町民踊愛好会、天野雅雄国際ソロプチミスト御殿場、家庭倫理の会御殿場市、四国化工機(株)富士小山工場、角田公江、須走婦人会

未使用ハガキ

喜多商会、須走婦人会、天野正雄 小山婦人会

未使用切手

書損じハガキ

小山婦人会、須走婦人会 アイリスオーヤマ(株)富士小山工場、岩田敏

食料

現金

米山元、御殿場スタンプ

(※つながり33号訂正)

北小29年卒同窓会一同(会長 小野祐司 副会長 原田ウラ子、湯山信雄、山崎克彦)

きてきて、アツプル 町民食堂「ごちそうさん」

小山町役場地下1階

毎週火曜日は定食を提供しています。豚の生姜焼きや、ハンバーグなど、週替わりの定食をお楽しみください。もちろん、定番料理も毎日楽しめます。これからも、皆様に愛される料理を提供したいと思いますので、多くの皆様のご来店をお待ちしています。



生姜焼き定食 550円



・ちょっと、ひとりごと

今年もあと3ヶ月。何かやりのこしたことはありますか？
ないごともみせせず、ちょっとずつ前に進めるジブンにごほうびを

社会福祉法人 小山町社会福祉協議会

〒410-1311 静岡県駿東郡小山町小山75-7

小山町健康福祉会館2階

TEL 0550-76-9906 FAX 0550-76-9907

http://fuji-oyama-wel.jp/



次回(第35号)の発行は令和5年1月1日です